

別紙様式

登録番号	特許第3407006号
発明の名称	可視光および近赤外領域のスペクトル情報による哺乳動物の血漿成分の迅速測定法
特許権者	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構
発明の概要	<p>哺乳動物の血液から分離した血漿について、近赤外分光光度計を用いて400～2500nmの可視および近赤外領域の吸光度を測定し、該吸光度の一次および二次差分を求め、これらを独立変数として説明力の高い独立変数を2～10個選択し、これらの情報から血漿中の中性脂肪濃度、無機リン濃度、カリウム濃度、乳酸脱水素酵素活性及びアルブミングロブリン比をそれぞれ予測し、該予測値に基づきこれらの成分を迅速に測定する方法である。</p>
産業上の利用性	<p>血漿中の中性脂肪濃度、無機リン濃度、カリウム濃度、乳酸脱水素酵素活性及びアルブミングロブリン比の臨床化学成分は、動物種について正常値あるいは推奨値が策定され、疾患に関わる情報として重要視されている。従来分析法では、これらの分析に際して高価な分析試薬を消費し、有害廃液は排出し、分析に長時間を要する等の問題があった。本発明は、これらの問題を解決し、哺乳動物の血漿成分を測定するシステムを提供でき、血漿成分分析の迅速化、低コスト化を果たす効果を有する。</p>
関連特許	なし。